

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 ミリーのすてきなぼうし 101~113

●散歩の途中で特別なぼうしを買った女の子のお話です。

●場面の様子や登場人物の行動を、想像しながら読み取ります。

●大きな形も色も、想像すれば自由自在に変わる、素晴らしいぼうし。

クジャクのぼうし↓ケーキのぼうし↓花でいっぱいぼうし↓噴水のぼうし

●気付けば周りの人がみんな、それぞれ違うぼうしを持っていた。

想像を広げれば、だれでも自分だけのぼうしが持てるんだね。



1年 おむすび ころりん 84~91

●包みから転がり出たおむすびを追いかけるおじいさんのお話です。

●リズムカルな文章です。場面を想像しながら、音読のしかたを工夫して、楽しく読みます。



おむすび ひとつ ころがって、ころころ ころりん かけだした。

…… はたけの すみの あなの なか、すつとんとんと とびこんだ。

…… おむすび ころりん すつとんとん。ころころ ころりん すつとんとん。

4年 新聞を作ろう 92~99

●知らせたいことが分かりやすく伝わるように工夫して新聞を作ります。

1 新聞の特徴と工夫を確かめて、どんな新聞を作るかを話し合おう。

2 取材をし、メモを取る。

3 わり付けを決める。

4 記事を書き、新聞を仕上げる。

5 感想を伝え合う。

見出しや写真・図などの入れ方を考えて、ていねいに仕上げよう。



3年 鳥になったきょうりゅうの話 111~117

●大昔の恐竜が、実は鳥として生き残っていたという事実を述べた説明文です。

●恐竜が鳥として生き残った経緯を読み取ります。

1 恐竜にいろいろな種類がいた。

・ 草食や肉食のもの。

・ うろこや羽毛に覆われたもの。

・ 大きいものや犬や猫ぐらいのもの。

2 長い年月を経て、木の上で暮らし、空を飛ぶものが

あらわれた。

3 空を飛べる恐竜の子孫だけが生き残り、さらに小さく軽い体になった。



6年 星空を届けたい 89~97

●目の見えない人にも楽しめるプラネタリウム作りの活動について書かれた説明文です。

プラネタリウム・ワークショップ：プラ

ネタリウムを、自由に話したり遊んだりできる場にする企画

星の語り部：プラネタリウムを使って行うクラブ活動

目が見えない人にも体験してもらう企画が生まれる。

さらに、耳の聞こえない人やお年寄り、子どもと一緒に楽しめる工夫を加えた。

＝ だれもが楽しめるユニバーサルデザインの番組ができた。

5年 モモ 92~99

●モモが、時間どろぼうに盗まれた時間を取りもどしに行く物語を読みます。

1 町の人々は、時間貯蓄銀行の灰色の男たちに時間を盗まれて、どんどん忙しく、いらいらしていた。

2 町の人々を救おうと考えたモモは、灰色の男たちに追われ、不思議なカメラに導かれて、時間の境界線の内側に逃げこんだ。

3 カメラに導かれ、すべてが逆向きになるへさかさ小路にあるへどこにもない家へにたどり着く。

時間の境界線にさかさ小路？ どこにもない家には、入れたのかな？

